

## 令和5年度都立小笠原高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	国語で的確に理解し効果的に表現する学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。</li> <li>・単元毎に授業を振り返り、次の単元への活かしかたを教科内で検討し、指導を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉による見方、考え方を働かせるためにペアワークやグループワークを行ない、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす授業の実施。</li> </ul>
地歴	基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において、思考に必要不可欠な知識をチェックし、考査によってその定着度を確認する。</li> <li>・既習範囲と新たな知識が連結するように説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を通して身につけた知識をもとに、抽象的な問題を考察し、整理し、表現する力を習得させる。</li> <li>・ほかの人の考察に触れ、自らの考えを反省させるようにする。</li> </ul>
公民	課題解決能力を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定</li> <li>・全ての授業で時事問題について取り扱う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施</li> <li>・模擬裁判の実施</li> </ul>
数学	基礎計算能力の定着と課題解決活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎計算能力向上を目的とした日々の小テストの実施</li> <li>・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項をもとにした課題解決を目的とした発問形式の授業の実施</li> <li>・他者と考え方を共有し、様々なアプローチ方法を身に付ける対話的な授業の実施</li> </ul>
理科	理科の見方・考え方を働かせた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象の中に問題を見出し、科学的に探究する授業の実施</li> <li>・日常生活や社会との関わりの中で、科学を学ぶ楽しさや有用性の実感につながる教材の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈する探究活動の実施</li> <li>・小笠原の豊かな自然環境を生かした体験的な学習活動の実施</li> </ul>
英語	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年の授業で、話す活動を行う。</li> <li>・話す力を評価する実技テストを実施。</li> <li>・パフォーマンスにフィードバックを提供しモチベーションのアップを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ、プレゼンテーションの機会を確保。</li> <li>・ディベートに挑戦。</li> <li>・各種留学を希望する生徒を輩出。</li> </ul>